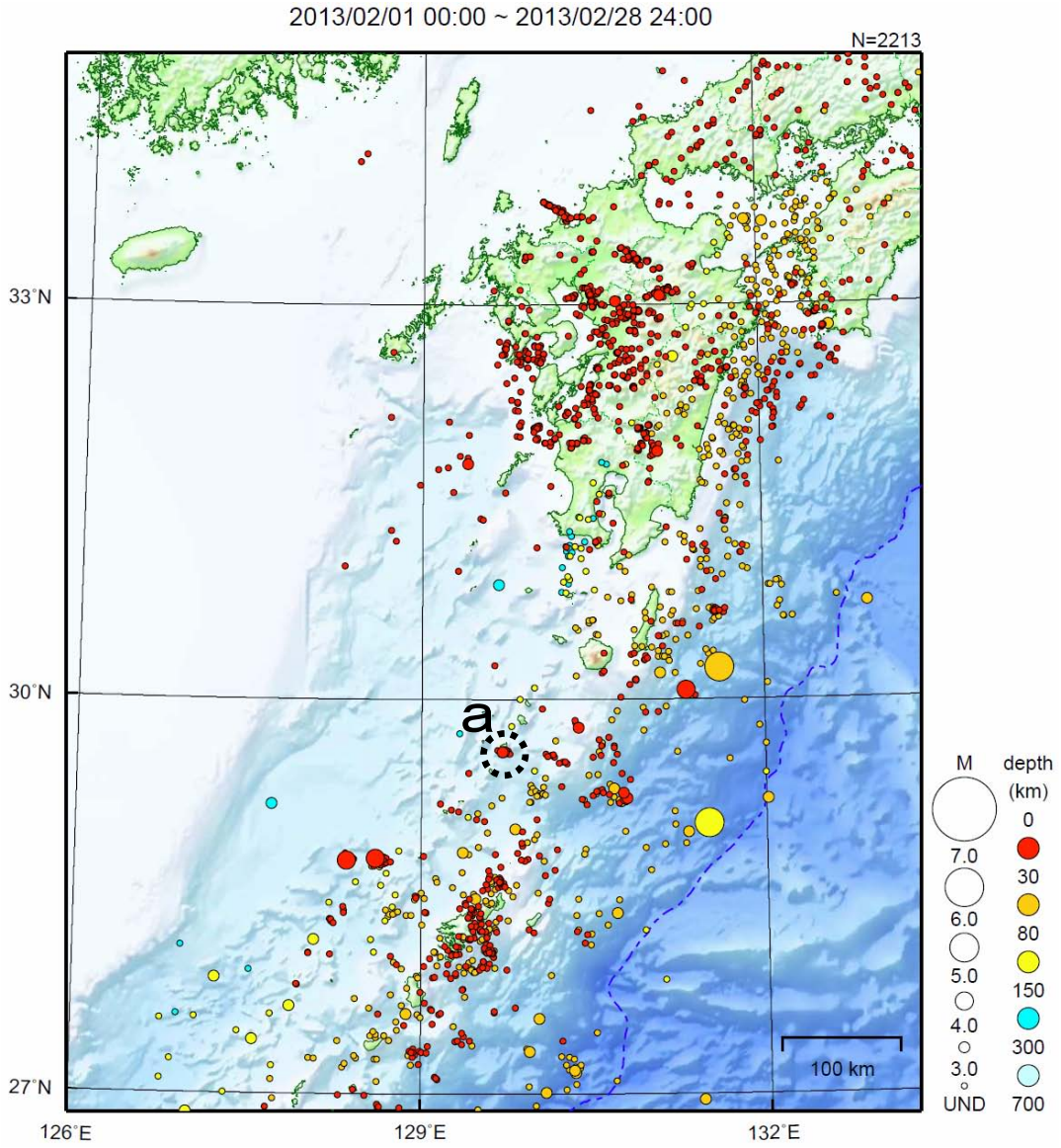
九州地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

a）２月 19 日にトカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）で、19 時 17 分の M3.5 の地震（最大震度３）を最大とする、やや活発な地震活動が発生した。この付近では 19 日から 24 日にかけて、震度１以上を観測する地震が 11 回発生した。

（上記期間外）

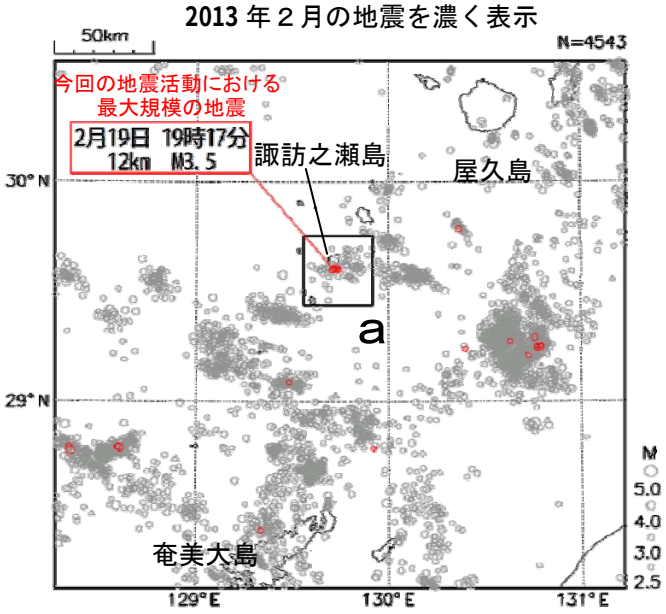
３月６日に沖縄本島近海（沖永良部島付近）で M5.0 の地震（最大震度４）が発生した。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

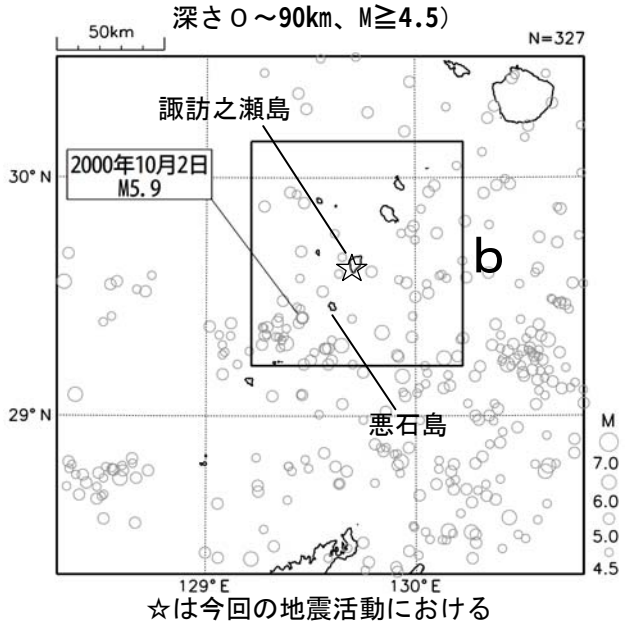
気象庁・文部科学省

２月 19 日　トカラ列島近海の地震活動

震央分布図
（1997 年 10 月１日～2013 年２月 28 日、
深さ０～30km、M≧2.5）
2013 年２月の地震を濃く表示

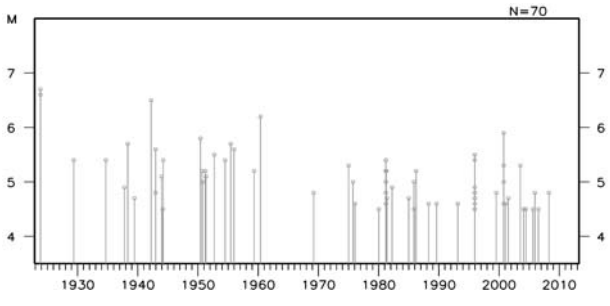


震央分布図
（1923 年１月１日～2013 年２月 28 日、
深さ０～90km、M≧4.5）



☆は今回の地震活動における
最大規模の地震の震央位置

領域ｂ内のＭ－Ｔ図

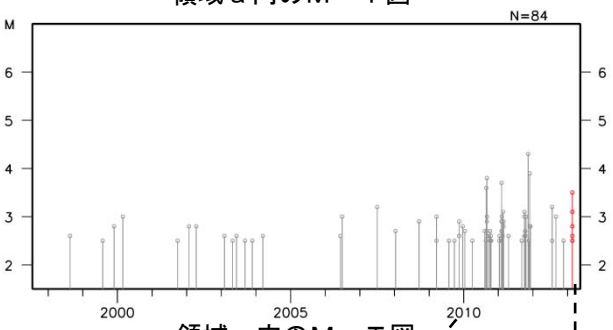


2013年２月19日に、トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）（領域ａ）で地震活動がやや活発となり、震度１以上を観測した地震が８回発生した。このうち最大規模の地震は、19日19時17分に発生したM3.5の地震（深さ12km、最大震度３）であった。その後も震度１以上を観測する地震が24日までに３回発生した。

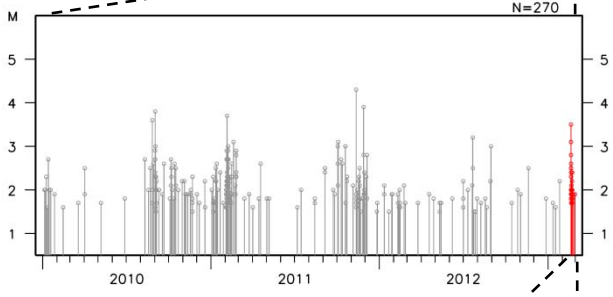
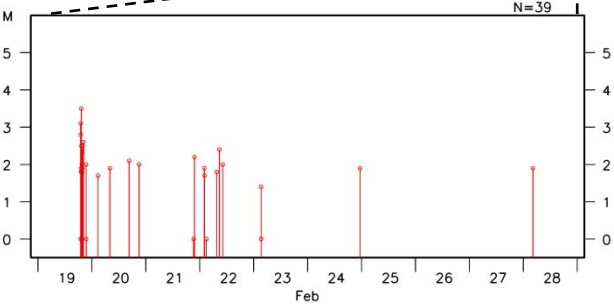
今回の地震の震源付近（領域ａ）は普段から地震活動が見られる領域で、最近では2011年２月と同年11月に地震活動がやや活発となった。

1923年１月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域ｂ）では、M5.0以上の地震が時々発生している。今回の震央に近い悪石島付近では、2000年10月２日にM5.9の地震（最大震度５強）を最大として、2000年10月の１月間で震度１以上の地震が46回発生した。これらの地震活動により、落石１箇所、水道管破損１箇所、小学校校舎壁面等亀裂２箇所の被害が生じた（総務省消防庁による）。

領域ａ内のＭ－Ｔ図



領域ａ内のＭ－Ｔ図
（2010 年１月１日～2013 年２月 28 日）
Ｍ≧1.5



領域ａ内のＭ－Ｔ図
（2013 年２月 19 日～２月 28 日）
Ｍすべて